

廃棄物行政

問 旧志賀町栗原地先における廃棄物処理施設計画の凍結に当たって、目指すべき循環型社会の目標と時期、さらに、その後の処理再編を含めた検討の手法と時期について伺います。

答 可燃性廃棄物であって埋立処分や単純焼却されているものについて、発生を抑制し、資源として活用する取組を促すことにより、処理施設への依存を小さくすることを目指します。循環型社会に向けた検討や取組をできるだけ速やかに進め、その進捗状況を検証・評価し、今後の施設整備における民間、市町、県の役割分担、特に、県が産業廃棄物の処理施設整備にどのような役割を担うことが望ましいのかについて一定の判断をします。また、先日設置した「ごみゼロ社会推進検討チーム」において検討を進め、年度内に対応方針を定めていくこととしています。

高レベル放射性廃棄物最終処分場問題

問 報道を受け、余呉町はもとより近隣市町でも相当の関心事となっており、その多くは不安を感じています。県民の安心、安全という面から知事の考えを伺います。

答 この問題は、県民はもとより下流域も含めて安全と安心を確保することを第一に考えなければなりません。

高レベル放射性廃棄物のガラス固化体は、数万年という長期放射能を発生し続けます。地中深く閉じ込める地層処分には、地震や超長期的な地形・気象の変動の影響で問題を指摘する意見もあります。遠い世代の子孫にまで不安を持ち越すことにつながりかねない問題です。国民全体の理解が十分深まっていない現状において、最終処分場は、と

うてい安心して受け入れられるものではないと考えています。

バイオ燃料

問 バイオマス利用には地域特性を生かした各地域での取組が大事と考えますが、どのようなビジョンを描き、どのように実現していくとされているのか伺います。

答 平成15年度から3年間にわたり、振興局等の圏域でバイオマスの発生量や利用状況、将来発生量とその利活用の方向等を内容とするマスタープランを策定し、市町における計画策定とバイオマスの利活用など主体的な取組を推進してきたところです。こうしたことから、圏域ごとに策定したマスタープランを基に、県全体のビジョンを議論してまいります。また、その実現に向けては、県、市町、関係機関、事業者等の連携の在り方など、県全体として望ましい進め方を検討してまいります。

産業

まちづくり三法

問 まちづくり三法の改正は、まちとしての「中心市街地の創出」であり、新たな視点での取組が求められますが、新たなまちづくりへの対応について伺います。

答 新しいまちづくりでは、商業等の活性化に加え、公共施設等の市街地集積や町中居住など、誰もが暮らしやすい中心市街地の再生を目指すことが大切です。県としても、地域での創意と工夫を生かした取組に対しては、まちづくりの専門家の派遣、チャレンジショップ事業、まちづくり交付金を活用した街並みの整備などを通じて支援していきたいと考えています。このような取組を通じて、高齢者をはじめとする住民の日常生活を支えてきた中心市街地のにぎわいを取り戻し、暮らしやすいまちづくりの実現に向けて取り組んでいきたいと考えています。



黒壁スクエア (長浜市)

教育

認定こども園

問 認定こども園に対する見解とどのような効果

期待しているのか伺います。幼稚園や保育所に対する保護者の期待が多様化しており、子どもに対する教育的機能と同時に保護者の育兒負担を軽減し、自由時間を確保していく側面も大切になってきており、認定こども園は、これら幼児のニーズや保護者の期待にこたえ得る新たな制度になるものと受け止めています。また、子どもたちがより、地域の子どもを支える施設としても大きな役割が担えると考えています。

9月定例会質問一覧

- 代表質問
山田 尚夫 議員(自由民主党・湖翔クラブ)
知事の基本姿勢について
新たな基本構想について
予算編成方針について
国民保護の推進ならびに消防広域化の推進について
治水対策について
琵琶湖市町境界設定について
新幹線新駅について
医療制度改革に伴う地域医療対策について
廃棄物行政について
新農政への対応について
まちづくり三法について
特別支援教育について
文化財行政について
警察官の不祥事問題と警察官増員計画について
河部 哲幸 議員(民主党・県民ネットワーク)
新たな基本構想の策定と将来の県の役割について
施策・事業の仕分けについて
新幹線新駅について
琵琶湖のレジャー利用の適正化について
オール・ディエンジニアリングについて
障害者自立支援法の対策について
少人数学級について
スポーツ振興の推進について
飲酒運転への対応について
一般質問
三浦 治雄 議員(自由民主党・湖翔クラブ)
新幹線新駅について
岡崎 基子 議員(民主党・県民ネットワーク)
栗原地先の廃棄物処理施設について
ノーマライゼーションの観点から見た出産の環境について
マイク口水力発電について
水上オートバイの取り締まりについて
悪質な金融業者の取り締まりについて
橋本 正 議員(自由民主党・湖翔クラブ)
外国人労働者について
我が国における原子力の平和利用、特に原子力発電の意義と役割について
ガン対策について
山田 実 議員(民主党・県民ネットワーク)
バイオマス利用と県政運営における部局連携について
ゴミの削減について
佐野 高典 議員(自由民主党・湖翔クラブ)
琵琶湖の水質問題と水草処理について
児童虐待について
AED(自動体外式除細動器)導入について
東南部上水道送水管損傷事故について
沼田 享子 議員(無所属)
高レベル放射性廃棄物最終処分場の調査誘致問題について
公有地における放置車両の問題について
障がい児・者とともに生きる教育について
新幹線(仮称)南びわこ駅設置問題について
宇賀 武 議員(自由民主党・湖翔クラブ)
7月定例会を終えられてのマニフェストの総括について
新愛知川農業水利事業について
合併に向けた13町の現状把握と今後の取り組みについて
森 茂樹 議員(日本共産党滋賀県議会議員団)
警察官の統合と対応について
新幹線新駅について
ダムについて
高レベル放射性廃棄物最終処分場について
市町合併と道州制について
来年度予算について
田中 章五 議員(民主党・県民ネットワーク)
地域格差について
余呉町の高レベル放射性廃棄物最終処分場候補地への応募について
藤田 恵子 議員(自由民主党・湖翔クラブ)
県民の生命、財産を守る取り組みについて
児童の校内暴力への対応について
指導力不足教員への対応について
中沢 啓子 議員(民主党・県民ネットワーク)
人材育成について
地球温暖化防止について
地産地消について
梅村 正 議員(公明党)
自立を支援する社会づくりについて
まちづくり三法の見直しと街づくりについて
県政運営と説明責任について
認定こども園について
教育の課題について
小杉 武志 議員(自由民主党・湖翔クラブ)
土砂災害防止に対するハード整備とソフト対策に

※3 原子力発電環境整備機構が公募する高レベル放射性廃棄物の最終処分施設の設置可能性を調査する区域について、本年9月20日の余呉町議会において余呉町長が応募する意向を明らかにしました。
※4 「まちづくり三法」とは、「都市計画法」「中心市街地の活性化に関する法律」「大規模小売店舗立地法」の3つを指し、人の流れを中心市街地に集めることでまちのにぎわいを取り戻すことを目的としています。
※5 「認定こども園」とは、幼稚園、保育所等のうち小学校就学前の子どもを対象に教育および保育を一体的に提供するとともに、地域における子育て支援を実施する機能を備えていると知事が認定した施設です。この制度を規定する「就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律」が本年6月に公布され、認定基準を定める条例は、滋賀県において現在策定中です。